

### 第三 法基準等に適合する生食用食肉又はふぐを取り扱う営業に係る施設の基準

- 一 飲食店営業、政令第三十五条第三号の食肉販売業、同条第九号の食肉処理業、同条第二十六号の複合型そうざい製造業及び同条第二十八号の複合型冷凍食品製造業のうち、生食用食肉の加工又は調理をする施設は、第一及び第二の基準に加え、次に掲げる要件を満たすこと。
    - イ 生食用食肉の加工又は調理をするための設備が他の設備と区分されていること。
    - ロ 器具及び手指の洗浄及び消毒をするための専用の設備を設けること。
    - ハ 生食用食肉の加工又は調理をするための専用の機械器具を備えること。
  - ニ 取り扱う生食用食肉が冷蔵による保存を要する場合には当該生食用食肉が摂氏四度以下となるよう管理することができる機能を有する冷蔵設備を、冷凍による保存を要する場合には当該生食用食肉が摂氏零下十五度以下となるよう管理することができる機能を有する冷凍設備を設けること。
  - ホ 生食用食肉を加工する施設には、加工量に応じた加熱殺菌をするための設備を設けること。
- 二 飲食店営業、政令第三十五条第四号の魚介類販売業、同条第十六号の水産製品製造業、同条第二十六号の複合型そうざい製造業及び同条第二十八号の複合型冷凍食品製造業のうち、ふぐを処理する施設は、第一及び第二の基準に加え、次に掲げる要件を満たすこと。
    - イ 除去した卵巣、肝臓等の有毒な部位の保管をするため、施錠することのできる容器を設けること。
    - ロ ふぐの処理をするための専用の器具を備えること。
    - ハ ふぐを凍結する場合には、ふぐを摂氏零下十八度以下で急速に凍結することのできる機能を有する冷凍設備を設けること。